

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 3月 1日

事業所名 きっず・らるげっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	バリアフリーではない。	特性に応じて仕切りをするなどし、構造化の配慮をおこなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、各々に合せたアセスメントツールを使用している	7			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	常に振り返りを行い、必要性や改善に念頭に見直しをおこなっている。	子どもの特性に応じて一部固定しているプログラムもあるが、固定化がただの惰性にならないように工夫している。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		長期休暇などでは長時間利用に応じたに に応じてプログラムを設定している。	今後も引き続き実践していく。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼で確認している	毎朝の朝礼で必要な情報を共有し、支援の内容や分担を確認している。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		その日にできなかった共有事項は次の日の朝礼にて共有している。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7			
関係機関や保護者との連携	19	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1	下校時刻の確認等は保護者を通して情報を得ている。	連絡調整は保護者との間でおこなうので学校との直接的な情報共有はしていないが、イレギュラーな場合は学校と確認や連絡調整をおこなう。また、児によってはおこなっている場合もある。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		現在該当者がいないが、必要に応じて情報提供をおこなう。
	23	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関での研修を受けているか	6	1	今年度は専門機関では受けていない。	各職員が常に研修の情報が得られるようになっており、専門機関の研修に限らず、それぞれに必要な分野の研修を選び受講している。
	24	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	7		毎月参加している。	今後も引き続き積極的に参加し、活動していく。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		ペアレントトレーニングを実施している。	評価表の意向に沿い、今年度はペアレントトレーニングを実施した。今後も必要に応じて実施していく。
保護者への説明責任等	27	契約書及び重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	32	個人情報に十分注意している	7			
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			地域住民を招待する行事ではなかったが、地域の中で活動し貢献できる事業運営を目指す。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年に2回実施している。	訓練をするだけでなく、災害発生時の新しい情報を得るよう努めている。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		法人にて年に1回研修をしている。	法人研修以外にも虐待防止研修を受講している。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	39	食物アレルギーのある子どもについて、アセスメントに基づく対応がされている	7			
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットが起きた際には皆で共有し、改善方法を話し合っている。	事業所内で共有、改善方法を話し合い、法人内でも報告する。